

## 2020年7月7日 Q&A with マイク牧師とバリー牧師

マイク・ゴレイ牧師、バリー・スタグナー牧師

- 終末に関する10の質問 -

[YouTube:2020年7月7日 Q&A with マイク・ゴレイ牧師とバリー・スタグナー牧師](#)

### [質問内容]

- ・「わたしと父は一つです」という事は、イエスは携挙の時期をご存知だったという意味ですか？
- ・天には異なる階層があるのでしょうか？パウロがエペソ人への手紙で「第三の天」と呼んだのは、どういう意味ですか？
- ・私達は、天国に行った時、私達が結婚していたかどうか分かるのでしょうか？
- ・なぜ、トランプ和平案は、イスラエルを分断すると、言われているのでしょうか？
- ・預言的な夢や幻を、完成された神の御言葉とどう調和させればいいのでしょうか？これらの夢は有効ですか？
- ・神が全てを完璧に創られたのに、なぜルシファーは、自慢出来たのでしょうか？
- ・テサロニケ人への手紙の「アポスタシー」は、何を意味するのですか？聖書は「反抗」だと告げています。
- ・大患難時代の14万4千人とは誰ですか？
- ・聖書の中で、“患難前携挙”を指示している箇所はどこですか？
- ・キリストを信頼していながら、罪に葛藤している人は、本当に新生しているのでしょうか？

[マイク牧師] こんにちは、バリー牧師。お元気ですか？

[バリー牧師] マイク、すごく元気ですよ。お会いできてうれしいです。

[マイク牧師] またお会いできて光栄です。私たちのテクノロジーは、今日も本当によく働いてくれているようです。そして、私たちはそれを利用します。こちらの掲示板で、多くの皆さんにお会いできて光栄です。アメリカ、カナダ、南アフリカのように世界各地から人が集まっています。なんと、これを見てください。皆さん、ヨーロッパの人や、ネバダ州ラスベガスの人たちもいます。今日は皆さんに来ていただけて嬉しいです。ようこそ。これからフロアを開放していきます。

すでに質問が来ています。念のため、ご存じない方のために、お知らせです。掲示板に質問を送信してください。とても簡単です。そして舞台裏には、ジェイソンという人がこれらの質問を受けて、そして、それを私の画面に投稿してくれます。今日は、聖書の訓練を受けた先生にご質問ください。それでは、最初の質問から始めましょう。ジェイソン、準備はできていますか？そこに投入してみましょ。おっとっと、ちょっと待ってください。危ない。始める前に、お祈りなしで始めるところでした。では、バリー牧師、今日の私たちのためにお祈りしていただけますか？寄せられる質問とその答えが、聖書的で分別があり、責任感のあるものであるようにと。

[バリー牧師] 素晴らしい！

主よ、私たちはあなたを知ることができて感謝です。私たちを知ってくださり、名前でご呼んでくださり、私たちの人生に、ご計画と目的を持っておられることに感謝します。主よ、その計画と目的の多くが、あなたのみことばに含まれていることを、私たちは知っています。ですから、私たちは今、あなたの聖書に目を向け、思考の明晰さと、主よ、私たちすべての助けとなり、ためになる、聖句からの合理的な答えを求めます。私たちは今日、あなたの御声を聞くことができるように、あなたの御旨と御心が、私たちの考えに浸透していくようにお願いします。あなたの御言葉から話せるように。このお祈りをイエスの御名によってお捧げします。アーメン。

[マイク牧師] アーメン！アーメン！

質問が来ています。さあ、今すぐ始めましょう。バリー牧師、あなたに質問します。私は、ここでコメントしながら、進めていきます。司会進行役と、質問回答の両方をやっていきますから。

**Q：「『わたしと父とは一つです』（ヨハネ10:30）ということは、イエスが、携拳のタイミングをご存知だということですか？」**

**[バリー牧師]** ご存知のとおり、興味深い点の一つは、全知、遍在、全能のイエスが、この地上を歩まれた期間、人の肉をまとしておられた時、あの時点で、それは御父だけがご存知だと仰いました。現時点では、主は、御父の右に座っておられるので、日と時を知っておられると信じています。しかし、どんな理由であれ、なぜかその時点ではまだ、主に知られていなかったことでした。ある時点では、御父が御子に、まだ明かさなない事を選んでおられたと、私たちは推測することができます。しかし、主が地上を歩んでおられた時のその時点では、御父だけが知っているとおっしゃいました。それには、ヨハネ14章の最後の晩餐での弟子たちにおっしゃった事も含まれます。

**[マイク牧師]** ええ、全く同感です。それが言われた時の直接の文脈で、御父と一体であることは、御父と同じ権威をイエスが持っておられた事。そこには、主が、御父と共有する目的の一致がありました。具体的には、主が自分の役割を知っておられ、御父の役割も知っておられた救いの計画です。そして、あなたが言ったように、主は後に、終末の時代について、具体的に明らかにされました。「天におられる父のほかには、誰も、時と時間を知らない」どんな理由であれ、それは御子には開示されていませんでした。しかし、これは、その辺の偽の教えが伝えているような、御子と御父が同じひとつの神ではない、という事では絶対にありません。実際に「三位一体はない」「神格は存在しない」と信じている人がいますが、それは事実ではありません。

それでは次の質問に移りましょう。ジョーン、ご質問ありがとうございます。

**Q：「天国には、異なるレベルがあるのですか？パウロが、エペソ人への手紙の中で書いている『聖なる場所』とは、何を意味しているのでしょうか。」**

多分、ジョーン、あなたが言っているのは、「第三の天」への昇天や、その他、新約聖書で使われている興味深いフレーズのことでしょうか？「天国には、異なる層、より具体的にはジョーンの言う、“レベル”があるのでしょうか？」バリー、それについてどう思いますか？

**[バリー牧師]** ええと、パウロが第三の天の話をした時、彼は、私たちが理解できるような言葉を使っただけだと思います。ご存知のように、基本的には鳥の領域である天があり、大気があります。それから星の領域である天があります。そして、第三の天は、霊界の領域である天、少なくとも神と御使いたちの領域です。そして、そこへ彼は引き上げられたのです。

**「それが肉体のままであったか、肉体を離れてであったかは知りません。」(第2コリント12章3節)**

と彼は言っています。マイク、定かではありませんが、エペソ人への手紙かどこかに、「聖天」というような言葉が使われていたと思います。しかし、私たちが認識しなければならないのは、天には報酬があるという事実を見て、イエスは、私たちの働きを裁かれ、肉体を持って行った事が火によって試されるという事です。そして、報酬にはレベルがあると言えると思います。しかし、ある人は高い地で生きるとか、いわば、天国のような、空中で生きるとは言い切れません。しかし、私たちは確かに天国に報酬があることが分かっています。確かに、与えられたものを使って何をしたかに応じた報酬があります。そして、千年王国の間の我々の治世を含めて、それらの事が複数のたとえを通して、教えられています。そして、確かに天国での報酬は非常にはっきりと述べられていて、それは、私たちが、主の御名と栄光のために行なったことに応じて、行われます。しかし、天国は…。新エルサレムは、1500平方マイルの立方体と表現されています。そういった意味

では、異なる階層やレベルがあると思います。しかし、一部の人が言うように、必ずしも、高次の存在ではないと思います。

**【マイク牧師】** ええ、その答え方良いですね。1世紀の人の考え方では、地球、大気、天の概念がありました。そして、その具体的な一節を書いたパウロは、神の臨在がある天国の場所に引き上げられたことを、読者に理解させようとしています。それは、自分の善行や地位などに基づいて異なる階層がある、という意味ではありません。しかし、そのような栄冠を追求する要因があります。そして、それは公平な条件下の競争ですが、報酬があります。とても良い質問ですが、どんどん次へ行きましょう。

マリオン…お名前の発音を、間違えていたらごめんなさい。マリオンからの質問です。

**Q：「天国に行けば、結婚していたかどうか分かるのでしょうか？」**

バリー牧師、分かりますか？

**【バリー牧師】** まあ、私たちが知られているように、私たちも知るようになると、パウロは言いました。だから、私たちは自分たちのアイデンティティを維持していきます。ピリピ3章にも、ヒントがあると思いますが、パウロは、語っています。

**「私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださる…」（21節参照）**

教会の携挙での死者の復活は、その時に引き上げられる霊・たましい・からだの再統一を示すものであることを、私たちは知っています。したがって、私たちはアイデンティティを維持します。天国での結婚についての質問でしたから、私たちは天使たちのようになり、婚姻状態はありませんが、しかし、自分が何者であったかは認識するのではないかと思います。しかし同時に、面白いと思うのは、主はイザヤ書や黙示録など、聖書の中で何度も語っておられる事で、「私たちの涙をぬぐってくださる。」ですから、将来、天国にいる私たちが悲しむようなことは、記憶から抹消されるのだと信じています。また、聖書は告げています。

**「妻を見つける者は幸せを見つけ…」（箴言18:22）**

そうすると、それはとても素晴らしいポジティブな経験と記憶になりそうで、ネガティブなものではないので、その記憶を拭き去る理由がないのです。ですから、いったんそこへ行ったらすべてを覚えているとは言えません。なぜなら、聖書は、私が言ったように、ネガティブなものが拭き去られ、涙が拭き去られ、神の国に入らなかった愛する人の記憶が拭き去られることを示しているように思えます。そして、天国が天国であるためには、主が、私たち自身の失敗の記憶を綺麗にしなければならぬとさえ思うのです。詩篇16:11にあるように、私たちが喜びに満ち溢れ、主の臨在の中で生きるためには。

**【マイク牧師】** ええ、サドカイ派がイエスを陥れようとした時のことを思い出します。（マタイ22:23～34参照）もちろん、彼らは復活を信じていなかったからです。そして彼らは、こんな風に、「なら、イエス、この人が死に、彼が結婚し、彼女が死に、そして彼が別の人と結婚して、そして彼女が死んだら…？7人の兄弟全員と結婚して…」彼らは、イエスを捕らえて、主をハメられると思ったのです。それが復活がない証拠だと、彼らは思ったのです。そして、あなたがおっしゃったように、マタイ22:30で事実について言及されています。復活の時には、私たちは結婚に縛られることはありません。しかし、だからといって、この地球上で知り合った人全員、特に配偶者を知らないとは限らないし、暗示もしていません。また違った関係性になるのです。そして、私は掲示板の中でも、知り合い、またはご自身が、過去に離婚、再婚されている人がいるでしょう。それはこんにち、非常に一般的なことです。そして多分、その後、信者になってどうなるのかと思っている。多くの人が質問します。「天国での配偶者としての役割は？」まあ、配偶者の関係はありません。男としても女としても、王座の前では非常に完璧な存在になります。これは、とても良い質問でしたね。

次はオデットからの質問に移りましょう。これはどちらかという、政治的な解説ですよ、バリー牧師。では、次はこれ、行ってみましょう。オデットからの質問です。

**Q：「トランプ和平案が、イスラエルを”分断する”と言われているのはなぜですか？」**

それについて、多くの論争があります。ここの掲示板でもコメントしていますが、しかしバリー牧師、あなたから始めましょう。トランプ和平案がイスラエルを分断すると言われているのは、なぜですか？

**[バリー牧師]** そうですね、私が思うに、ある人たちは、この、いわゆる「世紀のディール」の全体像を見て、それがパレスチナの支配下に領土を割り当てている事から、それがイスラエルの領土を明け渡ししており、従って、土地を分断している、と。そして、アミールと私は、何度もこのことについて話しました。私たちは、この問題に言及してきました。現在、イスラエルの主権の下では何も放棄されていません。ご存じの通り、彼らはどの領土からも追い出されてはいません。そしてマイク、知っての通り、聖書は土地の分割を禁止しています。しかし、その土地はイスラエルの歴史の中で何度も分割されています。前回、私たちがここで話したサンレモ会議100周年の時にも、イスラエルに与えられた土地は、国際社会によって彼らから奪われました。そこは、現在ヨルダンと呼ばれている国に占領されていますし、他の地域もそうです。イラクの一部とエジプトの一部は、厳密にはイスラエルに属しています。だから私たちは、イスラエルの土地を定義する時、大統領が提示した「世紀のディール」を超えて、全体像を見なければなりません。そして、ゼカリヤは、大患難の期間中に都が二つに分断されると言い、それが一番の懸念事項だということは分かっています。大統領が提示したものと、また、こんにちのあらゆる政治指導者たちが得られなかった手柄は、イスラエルとパレスチナ人の間に和平をもたらすことだと、私は思います。だから、大統領の働きは、過去の大統領や他の世界の指導者が行ってきたものよりも、イスラエルに対して、ずっと好意的で、確実に、イスラエルが主権を維持し続けられるようにしています。というより、お願いしますよ。彼はゴラン高原を承認しています。彼は、アメリカ大使館をテルアビブからエルサレムに移転させました。これは、現在も、今までも、ずっと親イスラエル派の大統領です。ですから、彼の計画を、何か反イスラエルのなものであるとか、土地を分断するような隠された要素があると見るのは、私たちが目撃している、彼がこれまで行って来た他のすべてのことに影を落としているような気がします。

**[マイク牧師]** はい、オデット、これだけは言うておきましょう。トランプ和平計画では、エリアAとBを認識し、それからエリアCで、これが、いわゆる併合です。私たちのライブアップデートを観てください。(6月29日付)バリー牧師と私は併合だけではなく、このすべてのことについてライブアップデートを行いました。だから、AとBのエリアは、私たちが住んでいる政治の世界では、トランプは、イスラエルの機能のために、そのエリアを与えることを嫌がっていましたが、これが、実際にはパレスチナ自治区で、オスロ合意で合意されています。では、トランプ氏は聖書的な規模で提供しているのでしょうか？絶対に違います。しかし彼の、いわゆる”平和計画”もしくは、”世紀の取引”と言われるものは、パレスチナが支配する配分が含まれています。これは必ずしも聖書的ではありません。彼は政治的にそうしなければなりませんでした。皆さん、覚えておいてください。彼は大統領です。牧師ではありません。アメリカ人は、大統領選で聖書の権限を認める牧師に投票したのではありません。彼らは大統領に投票したのです。バリーのポイントとしては、歴代の大統領の中で、これほどのレベルの、特にこの政治情勢の中で、これほどの親イスラエル派は初めてです。だから私は本当に願っています。私たちとアミールも含めて、誰もが望んでいると思いますが、最終的には、神が土地を取り戻されます。そのために、トランプ大統領は必要ありません。世界のリーダーはいりません。最終的に、誰が責任を負っているかを私たちは知っています。そして土地配分の真実は、神の権限下にあります。ですから、主に従うことはエキサイティングなことです。

**[バリー牧師]** マイク、ちょっといいですか？私たちは、一つ認識しなければなりません。私たちは、常に聖書の預言に照らして世界の出来事を考えているので、国際社会の側での取り組みが親イスラエルであろうと反イスラエルであろうと、エスカレートすると予想しています。中東危機を解決するための取り組みが増加するのを予測しておくべきです。イスラエルとの間で7年の契約が結ばれ、中東の平和問題が解決したかに見えるその時へと進んでいます。そして、それは黙示録の獣によってなされる事で、我々が、”反キリスト”と

呼ぶ人物です。大統領が7年契約の計画を出しているとは思えません。彼は、基本的に、イスラエルの主権を認めていて、そしていわば、彼は、基本的に、パレスチナ人に、ちょっと褒美<sup>ほうび</sup>をやっているのです。そしてもちろん、このどれも実現しない事を私たちは願いますが、でも、マイクが要点をついたと思います。大統領は政治的な人物であって、彼は政治をしていて、彼の活動している世界の範囲で動いて、両者が満足できるようにしようとしているのです。しかし、この計画でも、彼は間違いなくイスラエルを支持しています。だから、私たちは喜ぶべきだと思います。これが、反キリストの計画であるかのように見えてはいけません。そうではありませんから。私たちが知っている反キリストの計画は、ダニエルの70週目を含む契約で、中間点で破られ、その後、たくさんのが起こります。繰り返しますが、私たちはあまり、これに圧力をかけるべきではないと思います。あなたが言ったように、マイク、今の私たちの政権は、最も友好的な政権です。それも、我々の国の歴史上、そして国土再建後のイスラエルの短い歴史の中でも、最も反イスラエルの政権の一つから誕生したのです。

**[マイク牧師]** ええ、そして私は掲示板にいる皆さんに、これを言わなければなりません。私たちには、上はホワイトハウスまで関わりがあります。そして、これは言っても大丈夫だと思いますが、現政権はサンレモを理解しています。そして、彼らは世界の他の部分も理解しています。グローバリストのアジェンダです。だから、このいわゆる「和平計画」や「世紀のディール」は、世界の目にはイスラエルに傾倒し過ぎているように映るのです。それは、聖書の権限の範囲まで及ぶか？いいえ。しかし、トランプが反キリストか何かだと思っている人たち、皆さん、反キリストは不法の者で、グローバリズムと握手しているような人です。トランプは、そのすべてにおいて正反対です。私がこう言うのは、私たちは、ホワイトハウスの中にいる人々を知っているからです。皆さん、何が起っているのかをよく観察してください。そして、それは真実です。彼は、間違いなく不法の者ではありません。彼は、間違いなくグローバリストではありません。彼は、明らかにパレスチナの大義に全く共感しておらず、それはテロだと公言しています。一方で、彼は政治家であり、少なくとも誰かがこれに食いつくような取引をまとめなければなりません。しかし、彼は政治家で大統領です。牧師ではありません。ですから、ここで止めておきます。なぜなら、それが私たち次第だとしたら、ユダヤ人の入植地が、いたる所にありますから。良いですか、ちなみに、私は謝りませんよ。

シェリー、今度はあなたの質問に行きます。これはいい質問です。シェリーの質問は、

**Q: 「私たちは、どのようにして、預言的な夢や幻を、完成された神の御言葉と一致させるのでしょうか？これらの夢は、有効なのでしょうか？」**

シェリー、私はこの質問が大好きですよ。でも、バリー牧師の後で答えます。

**[バリー牧師]** ええ、マイク、私たちはまず、夢や幻が、終わりの日のシナリオの一部であることを認識しなければならぬと思います。また、他の御霊の賜物のように、終わりを迎えたものではありません。しかし、私たちは認識しなければなりません。聖書は、預言者の職が、パプテスマのヨハネと共に終焉<sup>しゅうえん</sup>を迎えたことを非常に明確にしています。ヘブル人への手紙1章は、それが過去の時代に開かれていたことを、教えています。

**神は昔、預言者たちによって…先祖たちに語りかけられましたが、この終わりの時には、御子にあって私たちに語られました。」 (ヘブル1章1節から2節a)**

ですから、幻や夢を見た人に、主が何かを伝えたいと思っておられるなら、もしかしたら、彼ら自身を守るため、啓示や個人的な励ましのために、主は、確かにその手段を使うことができると思います。マイク、何度も何度も耳にしているのは、中東では。

**[マイク牧師]** そうですね。

**【バリー牧師】** 宣教師の足が、もはや踏み込むことができない場所で、イエスがご自身を知らせておられます。ですから、主は、まだ手を差し伸べておられ、誰1人として滅びることを望んでおられません。そして、これらのイスラム教徒が支配する国や他の国でも、死に向かって引き寄せられている人たちを救うための手段として、これを用いておられるのです。でもマイク、また、私たちが覚えておくべきなのは、聖典は終了していて、最初から最後まで人類の歴史があり、その間で、私たちが知る必要のある具体的な詳細があって、私たちは神の書かれた御言葉の中で、人生と敬虔に関するすべてのことを与えられています。私たちが意識しなければならないのは、誰かが未来や世界の出来事、あるいは、そのような性質のものについて、主から教会全体への言葉があると言って来た時です。私たちは、すでにすべての情報、少なくとも私たちが知る必要のある情報を持っています。これから起こることの、すべての具体的な詳細は知らないかもしれませんが、神は、私たちが知るべきことを与えておられ、私たちは、いつ、私たちの贖いが近づいているのか、いつ、頭を上を上げるべきか、その日が近いのかを、告げておられます。そして、私たちは、かの日が近づいているのを見て、愛と善行をもって、お互い励まし合うべきだ、と。しかし、教会全体に対する、預言的な言葉や夢による一般的な啓示に関して言えば、その時代は終わっています。しかし繰り返しますが、神がこのような手段で個人に語りかけられる事は、明らかに終末期のシナリオの一部ですから、私たちはそれを無視しないように注意しなければなりません。特に、ヨエルが、イスラエルに関連して、終わりの日の夢や幻について語っています。それが私の答えです、マイク。

**【マイク牧師】** 責任ある答えだと思います。なぜかと言えば、幻や夢は、あなたが言うように、中東では、文化を装って多く用いられてますから。多くのイスラム教徒は、幻や夢を非常に重視しています。その理由は神がご存じですが、彼らをイエスに導くために、特別に用いておられるのです。これは新しい言葉ではありません。それは追加の啓示ではありません。それは文化的な文脈の中で、彼らを引き込むために、すでに明らかになっている方法です。しかし、もし彼らが幻を受け、霊を受けて、その、いわゆる”霊”が、改宗する必要があるムスリムに対して、こう言うと思います。改宗するだけでなく…「新しい聖書があることを、世界に知らせる。それは失われていたのだ。それを何と呼んでも構わない。しかし、あなたは世界に伝えなければならない。新約聖書は、まだ完成しておらず、この書物に付け加えなければならない。」なんということでしょう。これは危険地帯ですよ。これはカルトの世界です。皆さん。カルトが何をしたか見てごらん下さい。彼らは聖書に付け加えました。

そこで、シェリー。そこが分岐点です。いったん、そこに至って、”新しい啓示”に発展したら、問題です。使徒たちはイエスの目撃者だったのです。彼らは目撃者として、もしくは、目撃した人を知っていて、それを書いたのです。そして、彼らが書くにあたって、彼らは聖霊で満たされていました。ですから、こんにち、自身が目撃者であるとか、目撃者を知っており、当時、聖霊に満たされていたという条件を持っていなければ、誰でも、トム、ディック、ハリー、ステイシー、ジョセフィンのように、空から何かを引っ張り出してきて歴史を書き換えたり、さらに悪いことに、人々を間違った「新しい啓示」へ導いてしまいます。先に進む前に、最終的な考えはありますか？先生？

**【バリー牧師】** そうですね、マイク、とても重要なことだと思います。聖書は新約聖書の中で、特に第一コリント12-14章に、霊の賜物の正しい使い方や順番が書かれています。預言の賜物と預言者の職は、二つの異なるものであることを認識する必要があります。預言の賜物とは、神の靈感によって語ることです。私たちは、現代の新約聖書のそれを、ある人は「聖油（塗油）」と言い、ある人は「聖霊の油注ぎ」と解釈します。しかし預言者という意味で、神からの具体的な召命を受けた一人の人間を介して伝達することは、先ほど言ったように、預言者による預言はヨハネまでだとイエスはおっしゃいました。パプテスマのヨハネです。つまり、職としてそれを従事したのは、彼が最後だったことを意味します。しかし、預言の賜物は、今日も教会の中で生きて、機能しています。マイク、そこから重要なポイントに繋がると思います。ペテロが言っていましたね？第一ペテロ…19だったと思いますが、告げています。

「また、私たちは、さらに確かな、預言のみことばを持っています。」（第二ペテロ1:9）

従って、どんな事でも、すでに語られていることによって確認しなければなりません。つまり、夢や幻として出るものは、すべて、神の書かれた御言葉によって確認するのです。それから、聖書に特別追加されるような啓示などありません。「一主の仰せーこれが起こる、アレが起こる、あの国がこれをする」というような事や、加えて言えば、あなたが言ったように、ある本、”失われた書”とか、”ユダの福音書”とか。ですから、私たちに、預言的な言葉を確認するための手段が必要で、それは神のみことばです。

**【マイク牧師】** これだけは言わせてください。モルモン教について。いいですか？これを見ている皆さんの中に、私のモルモン教徒の友だちがいるなら、多分、何人かは見てるでしょう。高校時代に出会った人であろうと、軍で出会った人であろうと、これに関して、私の立場は知っているでしょう？君たち全員が宣教に行ったし、それも理解しています。ある部分では同じ事を信じています。しかし、私はモルモン書や『高価な真珠』、ジョセフ・スミスの、いわゆる幻や夢を支持することはできません。君たちはそれを知っているし、私も、それを知っています。そして、このグループの皆さんではありませんが、イスラエルの部族はモルモンだと福音書に書かれていると思っている人たち。私は、それに賛同できません。彼らは異邦人ですよ。皆さん。そして、モルモン書が書かれた、そのすべてはジョセフ・スミスが見た幻です。彼を抑制していたのは誰ですか？彼がイエスを目撃したという証拠はありません。彼はイエスの幻を見たと言張していましたが、それをどうやって確認するのです？モルモン教徒の皆さんは私の立場を知っていますね。これは、やっちはいけないことの一例です。それを理解してほしいんですよ、皆さん。1世紀には、多くの人がそれをしていて、今日もそうです。彼らは幻や夢を取り上げて、それを啓示に加えようとしています。そうは言っても、これも言わなければなりません。大事な事です。私は中東に8年以上、約10年住んでいて、イスラム教徒の国に行ったことがあります。私の知り合いには、レバノンのシェイク（部族の首長）がいて、彼はヒズボラと同盟した部族を率いていました。彼は権力を剥奪はくたつされました。なぜかという、彼自身の文化の中に暴力があり、互いへの接し方が見えたからです。皆さん、彼は”神”に祈りました。彼は、神に祈って言ったのです。「神よ。私に真実を示してください。」文字通り、翌日、彼は非常に明るい光の幻を見たと言います。イエスのようだった、と。イエスが、イスラム教の信仰においてどのように見えるか分かりません。私には分かりません。それが起こっている間、私の友人グラントが率いるチームが身の安全を守るために、具体的なことは言いませんが、グラントは、その村に伝道チームを派遣するかどうかを議論していましたが、安全性に不安があったため、彼は祈り、彼らは祈り、それを行うべきだと決めました。彼らはチームを派遣し、何人かの北アメリカ人がこのシェイク（首長）を見つけ、シェイク（首長）は彼を招き入れて言いました。「今すぐ、イエスについて、すべてを私に話してください。」その時、彼は信仰を持ち、信者になりました。そして、彼は部族から追放され、今日も、どこにいるのか誰も知りません。しかし、この人は、神が彼に与えられた幻を通して、信仰に至りました。しかしその幻は啓示を追加したのではなく、啓示を確認したのです。イエスが、事実、救い主であり、主である。これが、私がお伝え出来る、最高の実例です。

さて、ここでさらに質問があります。うわー、どっさり入って来ました！ミシェル、はい、ミシェルからの質問です。

**Q：「もし神が、すべてを完璧に創造したなら、なぜルシファーは、それを自慢できたのですか？」**

ダンディーだねえ！もし、すべてのものが完璧に創造されたのなら、サタンは、どのようにして完璧から抜け出し、墮落の中に入って、私たちに、このジレンマをもたらしたのか？

**【バリー牧師】** 私たちができる唯一の答えは、マイク、人がやったのと同じ方法です。人は神のかたちと似姿に創造されました。それが、人間は、いわば三位一体の性質を放棄することを選び、そして霊的に死んだのです。従って、御使いの領域は、人間の領域とは異なることを知っています。ヘブル人への手紙は、人間は、御使いよりも低い事を非常に明確にしています。(ヘブル2:7参照) それでも最後には、我々は御使いたちを裁くのです。だから、具体的な情報が与えられていませんから、唯一、答えられる事は、彼が知恵と美しさにおいて、完全に創造されたことを私たちは知っていますが、しかし、

「明けの明星、暁の子よ。どうしておまえは天から落ちたのか。」（イザヤ14:12）

これが彼の描写です。しかし現実には、マイク、私たちは天使の領域を想定しなければなりません。彼は、御使いたちの3分の1と一緒に連れて行ったのです。彼らは、私たちと同じように、主に従うか、主を拒否するか、自由意志において選択権を持っていました。神の被造物の順列は異なりますが、それ以外の説明があるかどうか分かりません。彼は、その美しい外見と完璧な知恵のために、誇りに満ちていた事以外は伝えられていませんから。神はご自身の完璧な創造の中に、その同じ要素を持って御使いの領域を創造されたのです。同じように、人間が墮落した後、いばらとあざみが地上に出て来ました。神がアダムを園において、園の手入れ、管理をさせた後です。その後、彼は額に汗して苦勞して働き、自分で食料を得なければならぬ場所に導かれました。（創世記3:18～19参照）そして、彼は生涯、働かなければなりません。今日、庭師が仕事をすると同じように。同様に、サタンと彼の選択もまた、靈的ないばらとあざみを世にもたらしました。それ以外に何か答えがあるか分かりません。マイク。

**【マイク牧師】** そうですね、これは難しいです。人々が長年議論してきましたから。教父学問である「聖師父学」を見て、教会の歴史をすべて調べていくと、その記述は尽きることがありません。しかし、あなたは核心を特定したと思います。つまり、「選択」です。神は完璧です。彼の創造は完璧でした。いいですか。しかし、もし神が賭けをしたとして…、と言っても、神は賭け事はしないので、私は神が賭けをしたとは思いません。神はまた、彼の愛の証として、私たちに選択する力を与えられます。考えてみてください。本当の愛があるなら、私は自分の創造物に選択する力を与えなければなりません。それらは完璧な状態で、完全な状態です。完璧なものは、決して不完全なものを選ばないと、皆さんは反論するかもしれません。いえ、場合によりけりです。完璧とは、変わらないという意味でしょうか？自分の心を変えたり、他のものを選ぶことはできないのでしょうか？

次に、トーマス・アクィナスが、（1225頃-1274のシチリアの神学者）「善と悪の問題」と呼ぶものを見てください。神が善を創造したなら、悪も創造したのか？どちらか一つしか持てないのか？両方持ってるのか？トーマス・アクィナスの「善と悪の問題」。皆さん、調べてみてください。皆さん、このことを理解しようと、壁に頭をぶつけて何年も過ごすことも出来ます。しかし、選ぶ力、選択の力が与えられたのは、神は、私たちが自分の選択で神を愛し返すことを望まれるからです。それは美しいことです。終わりの時代を見ると、神は、私たちに、何度も何度もチャンスを与えておられます。墮落した生き物が聖霊の働きかけで神を選ぶように。それは、最終的に、新しい天地が広がったときに、誰もが永遠の永遠、永久に最後の選択をします。なので…サタンはすでに選択をしました。彼は悔い改めを通り越しました。ミシェル、質問をありがとう。

次も、とても楽しい質問です。私は、これについて教えたばかりですから。ダイアナからの質問は、

**Q：「テサロニケ人への手紙の中で『背教』とは何を意味するのでしょうか？私の聖書には、反逆と書いてあります。」**

きっと、第二テサロニケ2章3節を指しているのだと思います。そこにはギリシャ語で「アポスタシア」という言葉が使われています。これは、拒絶、離脱、脱落、反抗することを意味します。ESV（標準英語訳）では「反抗」と訳されていて、欽定訳は「離脱」、他のいくつかは「出発」と訳しています。バリー牧師、抗議行動が起きる直前の週末に、私たち2人共が第二テサロニケ2章を教えました。あなたは、日曜日の説教壇で教えましたね。私は、抗議の週の前の金曜日に収録しておいたんですよ。その一節で、「アポスタシー」とは何を意味しているのでしょうか？それは「反逆」を意味しますか？

**【バリー牧師】** そうですね…。マイク、私たちが、理解しておくべきなのは、解釈のルールは文脈に支配されるのであって、文脈がすべてです。したがって…、議論は、この単語が、携拳を告げる「出発」と訳することができるので、これは携拳について言及していると考えている、素晴らしい、聖書を信じる牧師や教師がいます。



【マイク牧師】 ええ。

【バリー牧師】 使徒の働き21章の文脈で、これは、「放棄」と訳されています。（21:21参照）律法を放棄する、という文脈です。七十人訳聖書でも、アポスタシアまたはアポスタジアという単語を2回使用しています。そして、その両方が、旧約聖書のギリシャ語訳である七十人訳でも同じことを意味していて、それは反逆について語っています。それは、神の律法を拒否することを語っています。だから、聖書以外の情報源で、この言葉が、ある場所から別の場所への物理的な出発として使われているというだけで、聖書以外の情報源から文脈を確立することはできません。聖書は聖書で確証しなければならず、したがって、文脈で唯一、聖書の中で「アポスタシア」という言葉が使われているのは、モーセの律法に背く事、または神の言葉の真理からの逸脱、脱落に関連しています。それは第二テモテの4章でパウロが語ったことと一致しています。健全な教義の教えを拒否し、その代わりに、人間が作った教えや教義、戒律の中で寓話を好むようになる。（3~4節参照）繰り返しますが、先ほども言ったように、素晴らしい先生方が違う見方をしています。しかし、私にとっては、唯一の安全な解釈は聖書の中だけだと思っています。聖書の外で、どのように使われているとも関係ありません。

【マイク牧師】 ええ、全く同感です。その件でメールをたくさんもらっているのですが、それを言ってもらえて嬉しいです。人々の仮定では、「アポスタシア」とは「アポスタシー」を意味している。私の教えでは、そう定義しています。しかし、「アポスタシー」という言葉を調べれば、通常は、特定の教義や信条に背を向けることを指します。もしくは、何に対しても。反乱や軍隊からの離反などの意味もあり、古典ギリシャ語では、このように使われていました。ですから、背教は排他的に信仰を離脱する終末期の教会のためだけにあると信じている皆さん、ある時点では、それは、ほとんど真実でないことがわかっています。しかし、この背教は世界規模であり、文化です。第二テサロニケ人への手紙2章を読み進めると、滅びゆく人々、不信仰者は、すべての真理と理性と律法に背を向けると書いてあります。したがって、土地は不法が支配し、彼らは不法の者を崇拜します。

バリー牧師が指摘しました。アポスタシアを、「携挙」と訳す人もいます。なぜなら、それは「出発」とも訳せるからです。初期の英訳の中には、その一節をそう訳したものもあります。しかし、ジュネーブ聖書を見てみると、実際のティンダルとジュネーブ聖書の原本の冒頭には、実際、「出発」は「逸脱」を意味すると信じていると書かれています。ジュネーブ聖書にそうあります。皆さん、チェックしてみてください。だから「出発」は悪い翻訳ではありません。正確な翻訳です。真実や法律、はっきり言って理性から逸脱していますから。背教とは、背教する教会に限ったことではありません。その見方自体も問題があると思います。真の信者は不信者になれるのか？それとも、問題は、間違った目的でそこにいる一部の人たちと交錯している教会そのものなのか？教会で見る愛が好きなのかもしれません。もしかしたら、教会の中のコミュニティかもしれないし、教会の中の牧会的なケアかもしれないし、それで、イエスを公言しているのかもしれない。しかし、こういう人たちが迷い出るのは簡単で、それは今、私たちの目の前で起こっています。牧師、いわゆる牧師でさえも神学的に放棄して、世界とグローバリズムの教義に取り込まれています。私は、この2か月でそれを十分に見て来ました。きっと皆さんも見たことがあるでしょう。ですから、皆さん、目を覚ましてください。終わりの時が近づくとつれ、このグローバリズム運動の中で、より多くの人々が、聖書の真理に逆らって人々を欺くようになります。そして大患難の時代には、理性、法、真理への全面的な攻撃と反抗が起こります。それについては、まだ話すことがたくさんありますが、おそらく…ええ、どうぞ。

【バリー牧師】 最後にもう一ついいですか、マイク？第二テサロニケを見ると、第一テサロニケでの言及への応答であることがわかります。パウロは、混乱を解き明かそうとして、彼は第二テサロニケまで開いて、彼らに言っています。「心を騒がせたりしないでください」（第二テサロニケ2:2参照）「この問題で混乱してほしくない。」さて、なぜ第一テサロニケ4章では携挙について語るのに「ハルパゾー」という言葉を使い、その後、彼らの懸念や混乱に対処しようとしたときに、なぜ第二テサロニケ2章では、「アポスタシア」という言葉を使うのでしょうか？もし彼が、その問題に対処していたなら、彼は一貫した言葉を使ったでしょう。ですから、もう一度言いますが、私個人的には、真実からの逸脱は、最終的に大患難時代に成就すると

仮定した方が安全だと思います。人々は、神の御怒りが注がれていることを知っていながら、御座に着いておられる神の御顔と子羊の御怒りからかくまってくれと、山々や岩に隠れて叫ぶのです。（黙示録6:16参照）その時、いわば頂点に達するのです。しかし、それは大患難に至るまでの他のすべての要素と一貫して、イエスがオリーブ山の垂訓の冒頭で話されたように、産みの苦しみにように展開します。これは真実からの逸脱だと思ふことが不当だとは思いません。それが正しい解釈です。それは聖書のバランスと一致していると思います。

**[マイク牧師]** ええ、同感です。今、すべてのコメントを見ていると、掲示板が活気づいていて、良い感じですよ。楽しいですよ。そちらからは見えませんが、私は見えるんです。とても良いですね！皆さんが関わってくださることが大好きです。さらに続けましょう。全員が同意しているわけではなく、反対する人がいて、自分の意見を掲示板に書いているのも分かっています。皆さんが敬意を持ってやっている限り、ここでは歓迎します。ただ、礼儀に欠くと話は別ですよ。でも、少なくとも私が見た限りでは、敬意を払っているように見えます。それでは次の質問。ジェニファーからの質問です。

**Q：「大患難期間中の14万4千人とは誰ですか？」**

この人たちはだれですか？バリー牧師。

**[バリー牧師]** イスラエルの各部族から、12,000人ずつ。他に解釈の余地がありません。それ自体が解説しているので、何も付け加えたり、説明する必要はありません。部族が、そこに記載されていて、数字が、そこに記載されています。彼らは14万4千人のメシアニック・ジューであり、大患難の時代にキリストを宣べ伝えます。

**[マイク牧師]** ええ、彼らは黙示録の7章に出て来て、後にも出てきます。私たちが知っているのは、彼らが主のしもべであること、そう書いてあります。14万4千人である事も分かっています。ダンの部族は…、マナセの部族だったと思いますが、言及されていません。いえ、マナセの名前は出て来ます。しかし、ダンの名前は出ていません。この人たちが果たす役割は…、質問したのは誰ですか？名前を見ましょう。ジェニファー、私は、彼らとその間に、仲間に信仰を分かち合う役割を果たすと信じています。私たちは、彼らを「大患難時代の聖徒」と呼び、「圧力鍋」に放り込まれて、信仰を得る人たちです。これは私の「患難」の表現方法で、これはダニエル書9章と一致しています。ダニエル70週の最後の週に、神がイスラエルをご自身に戻すのが目的ですが、他の多くの国を含みます。ですから、彼らは主のしもべだと信じています。黙示録の中で、御使いがメッセージを宣べ伝え、二人の証人がメッセージを宣べ伝えることも分かっています。アポスタシアに戻って、世界はそれを拒絶し、彼らはそれに反抗します。「イエス (Yes)」と言う人もいて、そういう人たちが、これです。彼らが生物学的にユダヤ人であるかどうかはわかりません。わかりません。これらがイスラエルで再建された地域なのかどうかは、わかりません。それはわかりません。しかし、その時がくれば、人々には分かると思います。という事で、これが14万4千人です。次の質問に移る前に追加したいことはありますか？

**[バリー牧師]** いいえ、答えがでましたから！

**[マイク牧師]** はい。メリッサからの質問です。この質問をよく受けるので、まとめてお答えするかも知れませんが、よく聞かれるので、迅速に対応できます。

**Q：「聖書的に、患難前携挙を支持する証拠はどこにありますか？」**

いいですか？聖書的な、患難前携挙の証拠です。ここで、いくつかのピースを見ていきましょう。バリー牧師、ある種、ミクロの立証を立てていきましょう。そして、メリッサ、これについては、もう少し調べてみてください。バリー牧師、あなたが患難前携挙を信じる一番の理由は何ですか？

**[バリー牧師]** さて、テサロニケ第一の5:9から始めると、

「神は、私たちが御怒りに会うようにお定めになったのではなく、主イエス・キリストにあって救いを得るようにお定めになったからです。」（第一テサロニケ5:9）

また、7つの教会への手紙、最後から2番目のフィラデルフィアの教会に宛てた手紙にも試練の時から守られると書かれています。（黙示録3:7～13参照）患難期間全体に特有の言葉で、

「地上に住む者たちを試みるために、全世界に来ようとしている試練の時には、あなたを守ろう。」  
（黙示録3:10）

ですから教会には、「神の御怒りから守る」と具体的に伝えられているのです。また、聖書の中に前例があって、歴史を通して、神は人々を移動させて、神の御怒りから人々を救い出しておられます。ノアは、神の御怒りの上に持ち上げられ、これは携挙の図だと思えます。私たちは持ち上げられ、この地上での神の御怒りから連れ去られます。また、神がソドムとゴモラを破壊する前に、ロトは、その場所から地理的に移されました。ですから、神が個人をその場所から取り除いて、場所を変える前例が聖書にあります。地球全体に御怒りを注がれたノアの時代、ロトの場合は、具体的にソドムとゴモラでした。

私たちが認識しなければならない事…、そして、本当の議論が分かれるのは、ここだと思えます。人々は言います。「大患難、つまり恐ろしい大いなる主の日、ヤコブの苦難の時、大患難の後半部分が神の御怒りであり、前半部分は神の御怒りではない。」7つの封印を開け始めた時点で、それを立証するのは困難です。大患難全体が神の御怒りです。後半だけではありません。最後の鉢の裁きの幕開けと地球上で起こる激変を見れば、大患難の後半は100%完全な御怒り、純粋な神の御怒りです。それが一番の答えだと思えます。7年全体が神の御怒りです。7年全体がダニエル書の70週目ですから。そして、ダニエル書の70週全体が、ダニエルの同胞と聖なる都に関係しています。そして瞬時に7年の契約を結ぶ男が、第一の封印の開封時に白馬に乗って出陣し、一時の疑似平和をもたらします。（黙示録6:2参照）そして、黙示録で有名な4人の騎手の2番目の馬に乗った2人目の騎手には、地球から平和を奪う力が与えられ、個人が殺し合いを始めます。（4節参照）地の獣が人間を殺し始め、そしてお互いを殺し、その時に地球の人口の1/4が殺されます。（8節参照）そしてマイク、それは神の御怒りであり、それは大患難が始まって、すぐに起こります。

**[マイク牧師]** ええ、今おっしゃた事の2つを掘り下げていきます。①ダニエル書の最後の週、7年間は、具体的に、ユダヤ人国家が主のもとに戻ってくるように設計されています。そして、残念ながら…、そのためには、それが必要なのです。ローマ人への手紙9～11章によれば、それが、まさに彼らの頑なさです。教会自体、テサロニケの信徒たち自身、第二テサロニケ2章で、彼らは、主の日が来ている、あるいは、もう来たと信じていました。言い換えれば、彼らは、神の御怒りの中にいると信じていたのです。彼らを責めるつもりはありません。彼らは迫害されていると感じていて、実際、迫害されていたのです。それに対するパウロの論戦は、「あなたがたは騙されている。」「あなたがたは欺かれている。」「そして、理解しなければならない。主の日と再臨、それに繋がる出来事は、もし、あなたが実際にその時代にいるならば、①人々が神に向かって手を振りかざす、世界的な大いなる背教がある。そして、誰が反キリストであるかが分かるはずだ。」さて、反キリストは7年の初めに現れて、イスラエルとの和平条約に調印し、そして、大患難の中間まで、誰もが満足します。そして、第二テサロニケ2章にあるように、彼がユダヤ人を完全に裏切ります。「なのに、どうして大患難の真っ只中に携挙が起こり得るのか？」とパウロは、テサロニケの信徒たちに議論しています。彼らは、自分たちが大患難の中にいることを恐れていて、彼は記憶を正さなければなりません。もしそうなら、反キリストの正体を知っているはずだ。だから、違う！この理論を見なければなりません。皆さん。論理的に考えて、文脈に沿って考えましょう。テサロニケの人の身になって考えなければなりません。それと、パウロの身になって、その周りにある、他の聖句にも目を向けなければなりません。バリー牧師、マタイ24～25章のオリーブ山の垂訓を誤読することで、多くの混乱が生じていると思えます。もし私たち牧師が、ちゃんと教えていなければ…。おそらく、世界中で、まともに教えられていないと思えます。本当にオリーブ山の垂訓を解析して、人々にはっきりとした時系列を教えていないでしょう。つまり、大患難前の携挙について、他に何か言いたいことはありますか？

[バリー牧師] ええ、マイク、私は、第二テサロニケが、かなり明確に言及していると思います。不法の者は、引き止める者が取り除かれられない限り、登場出来ない。そして、それは教会を通して働く聖霊の力が取り除かれることへの言及です。神は、反キリストの進出を抑制しておられ…、神ご自身が、反キリストが出てくるのを抑えています。ヨハネの黙示録6章で分かっているのは、1番目の馬に乗っているのは、反キリストです。それは、ヨハネが「ここへ上れ」と言われた後、大患難の最初に起こります。天と地と地の下と、生きている者と死んだ者の中に、その巻き物を開くことのできる者を探した後で、一番最初に起こるのは、不法の者が大患難期の初めに、権力を握ります。私たちには、十分な証拠があると思います。それからマイク、あなたがオリーブ山の垂訓について言及していますが、ここでよく言われるのは、「オリーブ山の垂訓は、厳密にイスラエルに関連しており、大患難期だけで、その前でも後でも他でもない。」それには、同意できません。私は、確かに、その中に教会に関連する要素があると思っています。臼を引いている二人のうち、ひとりには取られ、ひとりには取り残される。(マタイ24:41参照)これは教会の携拳への言及です。黙示録や創造の最初の描写と同じように、そこには、厳密な年表があるわけではありません。これはよくある事で、特に聖書の初め、概要が与えられ、その後で、具体的な内容が与えられるのを目にします。同じことが、オリーブ山の垂訓にも当てはまり、まず概要が与えられ、これが展開されるにつれ、それに関連する具体的な詳細が与えられます。黙示録も同じような形で、概要が与えられ、そして、具体的な詳細が記録されています。繰り返しますが、マイク、私たちは認識しなければなりません。これは、教会である私たちが直面するものとして、神のパターンや、聖書の前例に書かれているものではありません。ですから、私たちは、全世界に来ようとしているこの試練の時から逃れる価値がある者でいられるように祈るべきです。(ルカ21:36、黙示録3:10参照)マイク、私は、前に何度かカンファレンスで言ったと思いますが、患難前携拳を信じている者は、逃避主義者だと非難されています。

[マイク牧師] ええ。

[バリー牧師] それなら、私は常に有罪です。私は逃げたいですよ。そんな経験はしたくない。主よ、地上に御怒りを注ぐ前に、ここから私たちを連れに来てください。それは、聖書に反することでも、浅はかなことでもないと思います。それはまさに、我々が期待すべきことです。

[マイク牧師] ええ。そしてそれは…。聖書は、複数の箇所ですべて「キリストにあって敬虔に生きようと願う者は、迫害を受ける」と述べています。私たちは、終わりの時、不法がエスカレートする事を知っていて、それは、信者として対処しなければなりません。私たちは、信者は、とにかく迫害されていることを知っています。クリスチャンであることが、あまり流行らない国では特に。私は、誰よりも大患難を避けたいですよ。しかし、それが、私が大患難前携拳を信じる理由ではありません。それが聖書的で、それが最も説得力があるから、私はそれを信じているのです。ただ、もし、私が大患難を経験しなければならず、あなたもそうなら、私たちは経験しますよ。私たちは、ただ、神が、現在の迫害に対して私たちに与えてくださっているのと同じ道具を、その時も与えてくださると信頼するだけです。

今、私たちの掲示板に参加している皆さんの多くが、非常に危険な国に住んでいることを私は知っています。私は、頭に銃を突きつけられたことがありますし、脅迫を受けたこともあります。何度も殴られた事があります。楽しくありませんでした。そんな経験はしたくないし、求めた事ありません。私たちが行く、すべてのミニストリーで直面する霊的な戦いは言うまでもありません。もし、私たちが、それを経験しなければならぬなら、…私たちが経験するとは信じていませんが、神が、私たちに道具を与えてくださるでしょう。今は信者に迫害がないとは、誰も言っていません。私たちが言っているのは、来るべき御怒りから神が、私たちを救ってくださるということ。私たちは、その背後にある目的とは何の関係もありませんから。それと、他のすべての聖書の証拠を考えると、私たちの目には、それが最も妥当な見解です。それでは、最後の質問に移ります。レイチェル…

さて、レイチェル。

Q: 「仮に、キリストを信頼しながら罪と葛藤し続けている人は、本当に新生しているのでしょうか？」

[バリー牧師] 私に答えて欲しいのかな？ (笑)

[マイク牧師] さて、前置きさせてください。ちょっと面白いです。先週の日曜日、私たちの聖書朗読で、第1ヨハネ3～5章を読んでいて、

「だれでもキリストのうちにとどまる者は、罪を犯しません。」(第1ヨハネ3:6)

というフレーズが、使われていたのです。これは、ギリシャ語を理解していると、本当に役立つところです。レイチェル、第1ヨハネのような書は、「キリストにある人は、決して罪を犯さない」と伝えるように見えます。いったんイエスの御元に来れば、バン！罪は犯さない。私たちは完璧だ！罪がない！そして、実際に、それを教えるいくつかの教派が、まだあります。

[バリー牧師] 完全主義です。

[マイク牧師] では、ここで一体何が起こっているのでしょうか？バリー牧師。これは一種の境界線です。「クリスチャンは、救いを失うことがあるのか？」でも、レイチェルが実際に聞いているのは…、キリストを信頼していても、罪と格闘し続けている人が、本当に新生している事があり得るのでしょうか？

[バリー牧師] ええ、マイク、あなたが言っているのは、第1ヨハネ3章9節にある

「神から生まれた者はだれも、罪を犯しません。」(第1ヨハネ3:9)

そして、あなたが非常に賢明に指摘したように、ギリシャ語を理解する必要があります。…むしろ「罪を犯さない」という表現は、「それに満足し続けられない」という意味を含んでいます。神から生まれた人は、罪の中にとどまり続けることに満足しません。聖霊である主が、私たちの中に留まっていますから。ですから、実際に神から生まれ、神の御霊に満たされている人は、誰でも苦しみ、格闘して、失敗しています。しかし、彼らは、その罪を犯し続けることに満足することはありません。また、私たちが覚えておくべきことの一つは、イエスが、聖霊が来る事を約束された時、主が言及された、聖霊がまず初めに行う働きは、まさに、世に罪を認めさせる事です。ですから、もし私たちの中に聖霊が宿<sup>やど</sup>っていて、そして、クリスチャンとして罪に陥ってしまったら、私たちは、満足出来なくなります。そこに留まる事に満足できません。だからといって、「人生の中で失敗を繰り返すことはあり得ない。だから、彼らが救われていない証拠だ」ということではありません。しかし、また、私たちは認識しなければならないと思います。マタイ7:20～21の最後にある山上の説教で、イエスは言われました。

「わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではない」(21節)

自己欺瞞に陥って、クリスチャンや霊的な活動をしている人の中には、実際には新生していない人もいます。しかし、マイク、私が思うに、永遠の保証に関する質問になると、それを悪用している人たちがいて、こんにち、恵みを悪用する人たちが無律法主義を教えて言います。「もはや、クリスチャンが生きるべき道徳的な規範はない。」しかし、私たちは聖<sup>きよ</sup>くあるように、新しい、いのちの中を歩むように召されています。マイク、聖霊があなたの内にあるとき、エペソ1:13に書かれているのは、あなたの将来を保証するための頭金が支払われた、ということです。

[マイク牧師] ええ。

[バリー牧師] 聖書のどこにも、新生した信者が相続しないとは書いてありません。私たちは認識する必要があります。クリスチャンも失敗します。クリスチャンも罪を犯します。しかし、満足感を失います。マイク、ここで私たちは、基本的に、この特定の議論に、最終結論を出すことができると思います。本人がど

う主張しようとも、その人が新生しているかどうかの議論で、クリスチャンは罪を再定義しようとしてはいけません。聖書が罪だと告げているものに対して、「でもね、文化は正しいと思います。だから、これは本当は大丈夫です。」なんて言うのはいけません。新生したクリスチャン、神の霊を持っている人は、決して、神の御言葉に矛盾する事はありません。時折、神の言葉に忠実に生きようと、自力で努力して、失敗する事はあるでしょう。私たちには、主が愛する者を律することが約束されています。（箴言3:12、ヘブル12:6,11参照）さて、神は、ただ面白がって私たちを懲らしめるものではありません。神は、好き好んで、誰かの名前を無作為に選び、叩いているものではありません。神は、私たちの失敗を、父がいとしい子を叱るように懲らしめられるのです。そして私たちの失敗は定義されなければなりません。（箴言3:12）そして、私たちの矯正は常に、私たちを神との交わりに戻す事と、御国のために有益な者とする事、これが目的です。ですから、そうですね。クリスチャンは失敗したり、罪を犯したり、悲痛な過ちを犯すことさえあると信じています。しかし、クリスチャンがしないのは、聖書が間違っていると言ったり、神の結婚や性的なものなどの定義が間違っているとかなんかと言う事です。それは聖書と矛盾しており、聖霊不在の証拠です。

**[マイク牧師]** はい、第1ヨハネのギリシャ語を明確に説明してくださって、嬉しいです。倒れた時、自分が倒れた事を認識して立ち上がろうと、戦うかどうかです。実際、第1ヨハネの中では、1章で告げています。もし、私たちが…、これは、信者の事です。「私たち」彼は、自分自身を信者の共同体と同一視しています。

**「もし自分には罪がないと言うなら、私たちは自分自身を欺いており、私たちのうちに真理はありません。」（8節）**

ただし、それを理解するだけでは、不十分です。

**「もし、私たちが、自分の罪を告白するなら」**もしくは、神に同意するなら、**「もし、私たちが、自分の罪を告白するなら神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。」（9節）**

そして、3章から5章までのギリシャ語は、バリー牧師がおっしゃったように、自覚もなく、罪を犯し続けている人、さらには、それを喜んでいる人もいますが、そういう人は、戦いに参加していません。そういう人は、神に賛同していません。そういう人たちは神に反対していて、戦いに参加せず、敵のために戦っています。言い換えれば、罪を喜んだり、罪を容認して「別に何も悪いことではない」などと言う事は、罪に関して、神に同意しているではありません。非常に重要だと思います。今日の会話を終える前に、テストをします。掲示板の中に、完璧で、言葉や行動、心の中で罪を犯した事のない人は、今すぐに告白してください。あなたの本性がわかりますから。あなたと一緒に、時間を過ごさなければなりません。一緒にボウリングに行って、秘密を探らないといけません。誰かいますか？私は待っていますよ。

**[バリー牧師]** 私は帰るよ！

**[マイク牧師]** 掲示板が、ここで突然減速しました（笑）私は皆さん全員と一緒に楽しんでいるだけです。私たちは皆さんを愛しています。このフォーラムの、1800人以上の人々のうち、罪と格闘した事のない人が1人はいるはずですよ。多分、違うのでしょうか。

**[バリー牧師]** 神は、それに反対するでしょうね。

**[マイク牧師]** 1章8～9節でしょ？ね？バリー牧師、お祈りで締めくくっていただけますか？そして、解散しましょう。

**[バリー牧師]** もちろんです。

父なる神様、私たちは、あなたの御言葉に頼れる事を、改めて感謝しています。私たちは、あなたの目が、あなたに忠実であろうとする人たちを探して、地球を巡っておられることを感謝します。主よ、私たちはあなたに忠誠を誓います。私たちは、あなたの御言葉が靈感を受けたものであり、誤りのないものであると信じています。（第二テモテ3:16参照）あなたのみことばが空しく帰ることはなく、あなたの望むことを成し遂げられることに感謝します。（イザヤ書55:11参照）あなたのみことばが、御子に現されたことを、感謝します。（ヘブル1:2参照）

主よ、私たちはキリストの栄光の出現を楽しみにしています。まず、キリストにある死者がよみがえり、私たちは、空中で主とお会いして、そして私たちはあなたと永遠に一緒にです。（第一テサロニケ4:16~17参照）それまで主よ、私たちが従事し、他の人にあなたのことを宣伝伝え、そして、苦しみの報いを、受けることができるように助けてください。また、あなたの御霊の力によって、あなたの御業の権威によって、他の人々が救われますように。この時間を一緒に過ごせたことに感謝しています。

ビホールド・イスラエルと、ミリアムの誕生日を祝うアミールとミリアムに、祝福がありますように。主が、マイクとともにありますように。あなたが与え給うた、その素晴らしい知性を使って、彼がBIの業務を遂行出来ますように。あなたがこの世界でしてくださることすべてに感謝しています。私たちの魂を救ってくださったことに感謝します。イエスの御名において。  
アーメン。

**[マイク牧師]** アーメン。いつものように、バリー牧師、ありがとうございます。このセッションを締めくくするために、私はコミュニティに挨拶をします。お待ちください。数分後に戻ります。いいですか？

**[バリー牧師]** 大丈夫ですよ。皆さん、BeholdIsrael.orgのウェブサイト、いつでもアクセスしてください。ニュースレターをお届けします。そのニュースレターは、週に一度のディボーションや、中東情勢や聖書についてお伝えしています。それは素晴らしいリソースです。ですから、それについてお話ししようと思いましたが、BeholdIsrael.orgです。また、皆さんのすべての質問に、答えることができなかったことも、ご了承ください。非常に多くの質問が寄せられています。ジェイソン、ヴァル、ローズマリー、ハーモニー、エイミー、ラッセル、ドウェイン。今週は、ご質問にお答えできませんでした。ごめんなさい。でも、限られた時間を有効に使って最善を尽くしています。とは言え、私たちのために祈り続けてください。私たちは皆さんを愛しています。顔を合わせる事はないかもしれませんが、かの日を迎えるにあたり、みんなで力を合わせています。そして、皆さん、その日はもうすぐです。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
主が御顔をあなたに照らし、あなたの一日を恵まれますように。

そして、今日のところはここまでです。また2週間後にお会いしましょう。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.08.30 (Sun)